

平成29年度



耳野ゼミ 成果報告書



活動地域

いなべ市藤原町立田地区

協力

篠立自治会、古田自治会、
いなべ市役所、地域住民の皆様

平成29年度 いなべグリーン・ツーリズム事業活動報告
京都産業大学耳野ゼミ



目次

- 報告書の目的
- 今年度の活動履歴
- 立田地区全体マップ
- 私たちからの提案や遊学歩道を歩いてみての感想
- まとめ



報告書の目的



この報告書を作成した一番の目的は篠立・古田の良いところを再発見することにあります。これまで何度も行ってきたフィールドワークでは、地域の方に篠立・古田の名所に連れて行っていただきました。案内して下さったところはどこも素晴らしく、魅力にあふれていたのですが、それに加えて、よそ者の目を持った私たち耳野ゼミの学生の視点から、魅力あるスポットを発見して提案したいという思いもありました。実際、篠立・古田でのフィールドワークを重ねるたびに、「もっとアピールしてもいいのではないか、他にも素敵なスポットが沢山あるのではないか」という声が、学生たちの間では、多く挙がってきました。

この報告書では、学生の目から立田地区の魅力をまとめました。活動を通じて私たちもより一層、立田地区への関心が深まったと感じています。この報告書を通して、地域外の者である私たちからの視点で見た地域に対する想いや考えを篠立・古田の地域の方々と共有できればとても嬉しく思います。

一年間誠にありがとうございました。



平成29年度の活動履歴



平成29年 5月6日、7日
遊学祭参加 紙芝居『明行寺に
伝わる『玉眼の御木像』を上演

5月26日、27日

紫光窯のお手伝い



7月16日、8月28日、9月18日

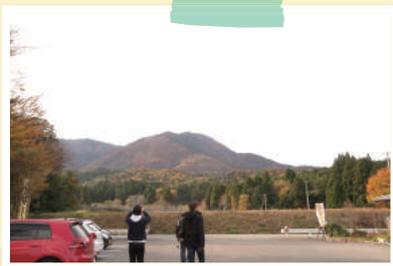
遊学歩道に関する調査



Oct.

10月7日

京都産業大学での地域交流イベント「サタデージャンボリー」で
いなべ市の広報活動



Nov.

11月21日

マップ作りのお手伝いで

地域で調査

11月25日

遊学歩道に関する調査



12月13日、15日

写真素材を集めるために

地域で調査

12月16日

遊学歩道に関する調査



Dec.

12月20日

写真素材を集めるために地域で調査



平成30年 1月23日 地域の方と打ち合せ

2月24日 地域の方にインタビュー

3月3日 ガイド研修に参加

いなべ市



立田地区全体 マップ

烏帽子岳



4

冬には雪景色、秋には紅葉を拝める絶景スポット



川沿いの歩遊道。散策するだけでも楽しい。



8

清水神明社。きれいな手水舎が設置されている。天照大神が祀られている指定神社。



11

幹が太く、貫禄のある特殊なカヤの木。



13

地域でも有名な風穴。毎年5月に開催される遊学際で中に入ってご覧いただけます。とても素敵な場所なので、一度は行ってほしい。

6

長楽寺

2

明行寺

4

拘留孫岳

立田会館

立田郵便局

10

7

11

清水神明社

篠立生活改善センター

13

立田小学校跡

善行寺

古田テニスコート場

5

9

立田公園

1

立田公園。グラウンドがあり、とても広くて家族づれで沢山活用できそう。公園内に「炭焼き小屋」がある。

1

拘留孫岳と烏帽子岳。立田村郷土唱歌に「真辯群の西北にめぐる熊坂烏帽子岳 白雲檐に近くして 山川清き立田村」という素晴らしい歌がある。雄大な眺めが美しい。

2



テニスコートの横に大きな公園を発見。何かに活用できそう。

5



ベンチがあるのはうれしい。「ご自由に座ってください」というメッセージを添えるともっと有効活用できそう。

3



歩いてみると道に1つも街灯がないことに気が付いた。冬は特に日が暮れるのが早いため、街灯がないのは心配。

7



京都嵐山を思わせるような素敵な場所を発見。工夫すれば、有数の観光スポットにできそう。

9



民家に植えられている綺麗な紅葉。すべて丁寧に剪定されていた。

10



郵便局 学校 お手洗い



私たちの感想・提案



1 ⑤の公園について

感想

私たちがフィールドワークでこの公園を訪れた際出た意見は「遊具が端に置いてあるだけで寂しい」でした。また、この地域を歩いて回っていると、公衆トイレが少ない事や、雨が降ってきた際に雨宿りする場所がない事、喉が渴いても自動販売機が少ない事に気が付きました。



上記を踏まえての提案

テニスコート横の公園をもっと充実させることが出来るのではないかと感じました。公園の使っていない場所に、公衆トイレ、屋根付きの休憩所、自動販売機等を設けることが出来るのではないのでしょうか。また、これらは観光客だけではなく、地域住民にも談笑などを楽しめる、憩いの場としても利用できると考えられます。今は何となく寂しい公園ですが、施設を整えることで活気のある場所になりうると思います。



2 ⑨の竹林について

感想

この道の両脇には生き生きと地面から真っ直ぐ生えた竹林が広がっており、この景色を見た時は感動を覚えました。差し込まれた太陽の光で緑が映えることによって生まれる色彩の美しさは、京都の嵐山を思わせるような景色でした。とても開放感があり、立田地区に住んでいない私たち学生から見ると日常で見ることのできない魅力的なものでした。是非このことを地域に住む方々に知っていただきたいと思います。またこの場所が地区外の人が訪れる目的地の一つになることも可能なのではないかと考えました。

上記を踏まえての提案

例えば、宣伝効果が高い若年層に焦点を当てたSNSでの広報や、道や竹をライトアップする、イルミネーションを行うとよいのではないかと思います。また、この道沿いには紫光窯があり、陶芸品や焼き物をイルミネーションと組み合わせることによって他のイルミネーションと差別化を図ることができ、有名になり人気が出るのではないかと思います。



3 10の民家の庭の木について



感想

いなべ市立田地区にはたくさんの民家があります。1日かけて地区を歩いて回りましたが、多くの家に紅葉や松の木が植えられていることに気が付きました。それは、家の玄関に門のように植えられており、全長20メートル近くある紅葉の木、また美しく剪定された松の木など、様々な庭の木を見ることが出来ました。

これらの木々はこの地域の街並みに非常に合っており、景観を損なうことなく、またその家独自の特徴を活かしていました。

なかでも強く印象に残ったのは、上でもふれた、20メートル近くある紅葉の木です。この木は家の端から端まで到達しそうな勢いで伸びており、とても綺麗に剪定されています。通りがかりに、つい立ち止まってしまう程、大きく、そして立派な紅葉の木です。一度立田地区に来た際には見てほしいものです。

上記を踏まえての提案

庭の木がこんなにきれいに剪定され、植えられていることは地域の魅力になると思います。しかし、何度もフィールドワークで立田地区を訪れている私たちさえ注意して見なければ、こんなにも紅葉や松が植えられていることに気が付きませんでした。観光で初めて立田地区を訪れた人であれば尚更だと思います。住民の方の理解が得られれば不快に思われない範囲で、SNSなどを通じて情報発信していく価値があると思います。



4 4の雪景色について

感想

立田地区の遊学歩道を歩いてみて魅力的だと感じたのは、雪景色です。遊学歩道を歩いているとどこからでも雄大な山々に雪が積もった壮麗な雪景色を見ることができます。また、冬の間の雪景色だけではなく秋には紅葉も見ることができ、立田地区の魅力を感じることができる絶好の場所であると感じました。この景色はきっと立田地区にしかない宝物になると思います。



上記を踏まえての提案

民家の庭の木についてと同様に、立田地区を訪れてもこんなにも雪景色が美しいことや秋には紅葉が見られることは気が付きにくいと思います。その為、この雪景色や庭の木々をもっと宣伝し、より多くの人々の目に留まるようにすることで多くの人々が立田地区に関心を持つきっかけの1つになるのではないかと思います。



活動まとめ



私は、二年間いなべ市の地域活性化に関わらせていただきました。この活動を通して、地域の方の温かさを知ることが出来ました。この経験は私の人生においてとても貴重な経験になると思います。協力してくださった地域の方々や、市役所の方々、本当にありがとうございました。今後も何らかの形でいなべ市の活動に関わらせていただければと思います。これからも、耳野ゼミの活動を温かく見守っていただければ幸いです。

企画長 花岡 真央

京都産業大学の学生が立田地区でお世話になるようになってから、今年で四年目になります。地区の皆様にはいつも学生を温かく迎えていただくとともに、多大な御協力を頂戴し、心から感謝しています。

京都産業大学は、2014年にいなべ市と連携協力に関する包括協定を締結しました。これは、大学と市が地域活性化と人材育成について互いに協力しながら良い関係を築こう、というものです。この協力関係をもとに、グリーン・ツーリズム事業の一環として、学生が毎年、立田地区で活動をさせていただいています。

今年は、「遊学歩道についての調査と提案」を課題の一つとして地区から頂戴しました。ご覧いただいているマップは、この課題に対する学生たちの研究の成果です。

学生たちは、何度も地区に足を運び、自分の目で遊学歩道を歩き、自分の目で地域の様子を確かめました。そしてそれを地図に落とし込み、説明文を考え、全体のデザインを考案し、学生なりに心をこめて作成しました。とはいえ、まだまだ不十分な点、不正確な点が多々あるかと思っておりますので、皆様の率直な御指摘、御意見をいただけましたら真に幸いです。

京都産業大学 耳野 健二

耳野ゼミ 企画班

3年次

ゼミ長 千賀 俊哉
企画長 花岡 真央
副ゼミ長 永見 貴宏

2年次

地図 新谷 正太
岡本幸太郎

担当教員

耳野 健二

耳野ゼミ 報告書作成班

3年次

井上 達海
岩城賢太郎
奥村 珠恵
東 真也
千原 拓巳

2年次

岸田 一也
宮崎 空
守屋 大輝

耳野ゼミ 写真報告書班

3年次

阪本 仁志
菅 翔梧
中村 圭佑
西浦 麻華
松井 瑞輝
吉岡 秀彬

2年次

今中 晃
鈴木 華菜
入場 朋香
前橋ひなの
南川 桃菜